

## 財務諸表に対する注記

### 1. 継続事業の前提に関する注記

継続事業の前提に重要な疑義を抱かせる事象又は状況はありません。

### 2. 重要な会計方針

#### (1) 有価証券の評価基準及び評価方法

##### ① 満期保有目的の債券

償却原価法（定額法）によっておりますが、重要性に乏しい債券については、公益法人会計基準注解1（2）により債券額面額で評価しています。

#### (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

該当ありません。

#### (3) 固定資産の減価償却の方法

##### ① 有形固定資産

該当ありません。

##### ② リース資産

金額の重要性が乏しいため、公益法人会計基準注解1（4）により通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっています。

#### (4) 引当金の計上基準

該当ありません。

#### (5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込方式によっています。

### 3. 会計方針の変更

該当ありません。

### 4. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりです。

（単位：円）

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	1,002,000,000	0	0	1,002,000,000
小計	1,002,000,000	0	0	1,002,000,000
特定資産				
定期預金	291,500,000	71,500,000	71,500,000	291,500,000
普通預金	56,864,033	46,302,039	43,002,039	60,164,033
投資有価証券	295,005,828	43,000,000	34,036,500	303,969,328
小計	643,369,861	160,802,039	148,538,539	655,633,361
合計	1,645,369,861	160,802,039	148,538,539	1,657,633,361

## 5.基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は次の通りです。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債からの充 当額)
基本財産				
投資有価証券	1,002,000,000	1,002,000,000	0	0
小 計	1,002,000,000	1,002,000,000	0	0
特定資産				
定期預金	291,500,000	291,500,000	0	0
普通預金	60,164,033	60,164,033	0	0
投資有価証券	303,969,328	303,969,328	0	0
小 計	655,633,361	655,633,361	0	0
合 計	1,657,633,361	1,657,633,361	0	0

## 6.担保に供している資産

該当ありません。

## 7.固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高

減価償却の対象となる固定資産はありません。

## 8.債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該資産の当期末残高

貸倒引当金の対象となる債権はありません。

## 9.保証債務等の偶発債務

該当ありません。

## 10.金融商品の状況に関する事項

### (1) 金融商品に対する取組方針

当法人は、新規起業者や新分野進出企業を支援することを目的として、熊本県内企業の発行する株式、新株予約権付社債の取得及びその保有を主な事業としております。また余資については、事業の財源とするため国債、地方債、政府保証債により運用します。なおデリバティブ取引は行わない方針であります。

### (2) 金融商品の内容及びそのリスク

当法人が所有する投資有価証券は株式、新株予約権付社債、国債等であり、発行体の信用リスクにさらされております。

### (3) 金融商品のリスクにかかわる管理体制

株式、新株予約権付社債の取得及び保有については、当法人の「投資業務取扱に関する基本方針」に基づいて行っており、投資先企業の経営状況を随時かつ定期的にモニタリングし、財政状況の把握に努めております。

債券については、当法人の債券運用規程に基づいて運用しており、運用状況については理事会に報告し

ております。

1.1.満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価格、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価格、時価及び評価損益は次のとおりです。

なお国債の時価は、3月31日発表の日本証券業協会の公社債店頭売買参考値の平均額によっております。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価格	時価	評価損益
第136回利付国債A	100,000,000	119,030,000	19,030,000
第136回利付国債B	170,000,000	202,351,000	32,351,000
第136回利付国債C	132,000,000	157,119,600	25,119,600
第138回利付国債	400,000,000	471,280,000	71,280,000
第139回利付国債	100,000,000	119,200,000	19,200,000
第144回利付国債	100,000,000	118,120,000	18,120,000
合 計	1,002,000,000	1,187,100,600	185,100,600

1.2.補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりです。

(単位：円)

補助金の名称	交付者	前期末残高	当期末増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
企業化支援システム推進事業補助金	熊本県	500,000,000	0	0	500,000,000	指定正味財産
創業・新分野進出推進事業費補助金	熊本県	0	1,324,000	1,324,000	0	—
合 計		500,000,000	1,324,000	1,324,000	500,000,000	

1.3.指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は次のとおりです。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	0
経常外収益への振替額	9,775,000
投資有価証券評価損計上による振替額	9,775,000

1.4.関連当事者との取引の内容

該当ありません。

1.5.重要な後発事象

該当ありません。